

特集「天然ダム・河道閉塞」に関する原稿募集について

砂防学会誌 編集委員会

砂防学会誌編集委員会では、年度の最終号で特定のテーマに関する最新の研究成果をまとめて掲載する「特集号」を企画しています。これまで過去8回の特集号では皆様から多くのご投稿を頂き、大変ありがとうございました。

第9回の特集テーマは「天然ダム・河道閉塞」です。2004年の新潟県中越地震、2008年の岩手・宮城内陸地震、2011年の台風12号など近年、大規模な天然ダム・河道閉塞が続発しています。これに伴い様々な対策が実施されるとともに、天然ダム・河道閉塞による被害の実態の把握、ハードおよびソフト対策技術開発など、様々な調査・研究が行われてきています。その結果、最近10年で、従来以上に天然ダムの実態に関わる情報の収集・蓄積が飛躍的に進むとともに、天然ダム決壊に関する数値計算や監視・観測技術など新たな技術開発が相次いで行われてきたと言えると思います。

そこで、今回の特集では、「天然ダム・河道閉塞」に関する原稿を幅広く募集したいと考えます。本特集では、天然ダム・河道閉塞の実態調査、数値計算などの予測技術、水理模型実験、現地での対策事例、新たな対策に関

する技術開発など、天然ダム・河道閉塞に関する様々な側面の原稿を対象とします。

- 募集原稿の種別：論文，報文，総説，研究ノート，技術ノート
- 原稿投稿締切：2015年7月31日(金)
- 原稿様式：砂防学会誌「投稿要領」および「執筆要領」による（注：原稿投稿時に砂防学会誌または砂防学会ホームページ（<http://www.jsece.or.jp/>）にて最新の「投稿要領」および「執筆要領」をご確認下さい。）
- 投稿方法：通常の砂防学会誌原稿の投稿方法に準じますが、投稿票の「⑪その他」の欄に「特集：天然ダム・河道閉塞」と記載して下さい。
- 掲載予定号：砂防学会誌第68巻6号（2016年3月発刊予定）
- その他：通常原稿と同様に査読を行います。発刊予定号の入稿期限までに編集委員会において原稿が掲載可とならない場合には、特集号発刊後の別号に掲載させていただきます。